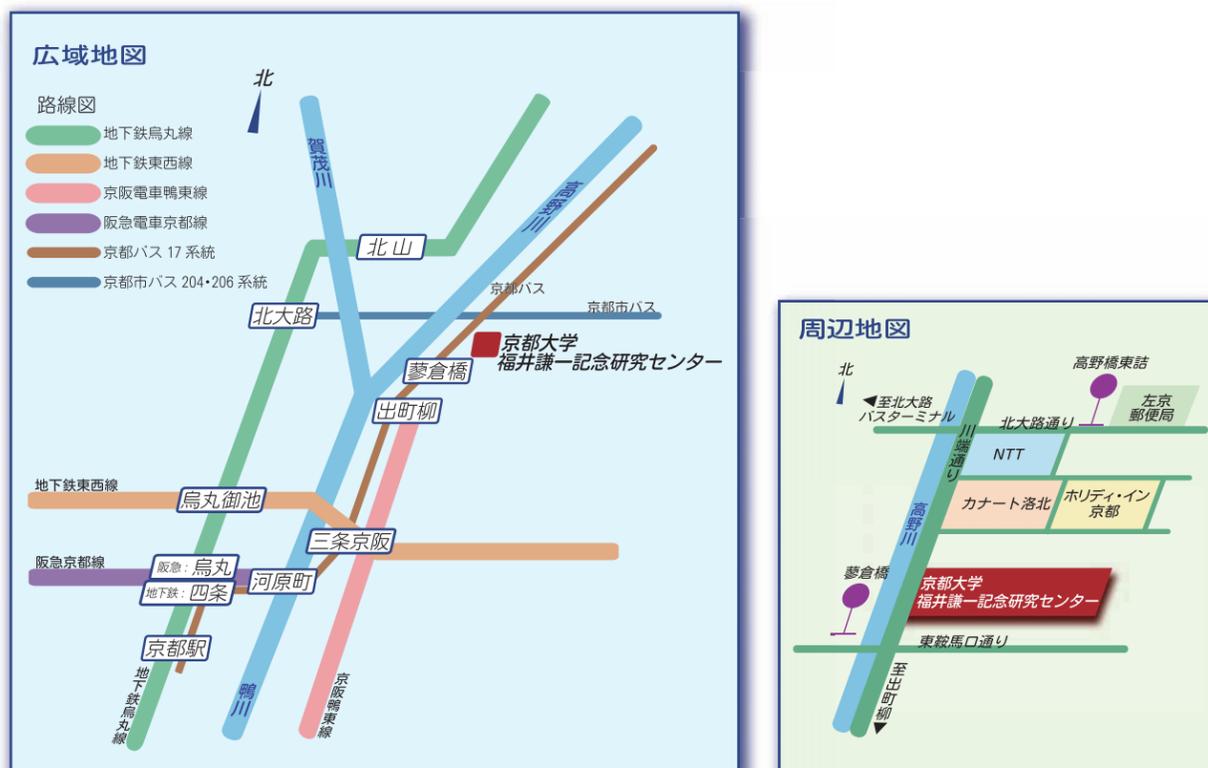


# 京都大学 福井謙一記念研究センター

## 福井謙一記念研究センターへのアクセス



### JR 京都駅から

1. バス（所要約 45 分）  
市バス206系統：東山通り経由北大路バスターミナル行きに乗車、「高野橋東詰」下車。川沿いに南へ徒歩5分。  
京都バス：八瀬または大原行きのいずれかに乗車、「夢倉橋（たでくらばし）」下車。川端通りを渡り少し北側。
2. 地下鉄と市バス（所要約 40 分）  
地下鉄・国際会館行き（北行）に乗車、北大路駅下車、市バスに乗換。  
北大路駅地下市バス4番乗り場より206系統：東山通り京都駅行き、または204系統：錦林車庫行き、または市バス3番乗り場より北8系統：岩倉行きのいずれかに乗車、「高野橋東詰」下車。川沿いに徒歩約5分
3. タクシー（所要約 20～30分、2,200円前後）  
「川端通りの『ホリディ・イン京都』の手前で」と頼んで下さい。  
『ホリディ・イン京都』の南側が『京都市左京まち美化事務所』で、その南隣。

### 三条京阪から

京都バス：北行き全系統に乗車可（バス停は川端通り西側）「夢倉橋（たでくらばし）」下車。川端通りを渡って北側。

### 京阪出町柳駅から

京都バス：北行き全系統に乗車可（バス停は川端通り西側）「夢倉橋（たでくらばし）」出町柳から3つめ下車。川端通りを渡って北側。または、徒歩で高野川沿いに川端通りを北へ15分程度（高野川に降りて河原を歩くこともできます。）

### 四条河原町から

京都バス：北方向に向かう大原行きに乗車（河原町通り OPA に停留所あり）。あるいは南方向に向かう「岩倉実相院」「岩倉村松」行きに乗車（河原町通りナムコタワー前に停留所あり）。「夢倉橋（たでくらばし）」下車。川端通りを渡って少し北側。



[www.fukui.kyoto-u.ac.jp](http://www.fukui.kyoto-u.ac.jp)

〒606-8103 京都市左京区高野西開町 34-4

TEL: 075-711-7708 FAX: 075-781-4757

# Fukui Institute for Fundamental Chemistry Kyoto University



## 建物概要

研究所の敷地は、3,306 平方メートル、建物は鉄筋コンクリート 3 階建て、延べ床面積 2,926 平方メートル、1 階はセンター長室、事務室、多目的室、応接室など、2 階は福井謙一先生の居室、スーパーバイザー室、研究室、コンピュータ室などの研究部門、3 階は大会議室をはじめ、セミナー室、図書室などの共通部門となっています。

3 階の大会議室は最大 250 名を収容することができ、会議、講演会、式典などに使用されます。また 1 階及び 2 階の中央部分は吹き抜けとなっていて空間にゆとりをもたせ、1 階には茶室風の和室、2 階と 3 階にはラウンジ、3 階には食堂を設けて研究者に交流と憩いの場を提供しています。

センターの南にはガーデンがあり、晴れた日にはゆっくりくつろぐことができます。

## 概要

福井謙一記念研究センターは、福井謙一博士のノーベル化学賞受賞を記念して設立された財団法人基礎化学研究所が京都大学に寄附移管され、平成 14 年 4 月に発足しました。

本センターは、福井謙一博士の研究理念を継承・発展させ、最先端の基礎化学と関連する諸分野の科学を融合し、次世代の化学理念の構築を行うことにより、世界を先導する新たな物質観の創造を目指しています。

センターは「総合研究部門」と「理論研究部門」の 2 部門で構成され、理論化学・計算化学・シミュレーション化学を推進し、次世代化学理論の構築と計算システムの開発、およびその化学と生物学への応用研究を行っています。また、平成 15 年度より若手研究者の発展的な研究に対する支援と助成を行っています。

## 沿革

財団法人基礎化学研究所は、福井謙一博士が昭和 56 (1981) 年化学反応の経路に関する研究でコーネル大学の R. Hoffmann 博士と共にノーベル化学賞を受賞されたことを記念して、基礎化学分野の研究を推進し今後の化学の発展に貢献することを目的として設立されました。

昭和 59 年 9 月に文部省 (現・文部科学省) より設立の許可を受け、稲山嘉寛氏を初代理事長として、経済団体連合会、日本化学工業協会などの援助による募金に基づき、昭和 63 年 5 月に基礎化学研究所の建物が完成し、福井謙一研究所長の指導のもとに活発な研究活動を展開しました。

平成 10 年 1 月福井謙一研究所長が逝去され、財団法人基礎化学研究所は京都大学に寄附移管され、平成 14 年 4 月京都大学福井謙一記念研究センターとして再発足しました。



研究所建物全景



1 階吹き抜け部分



コンピュータ室



研究室

# 『知の湧源』

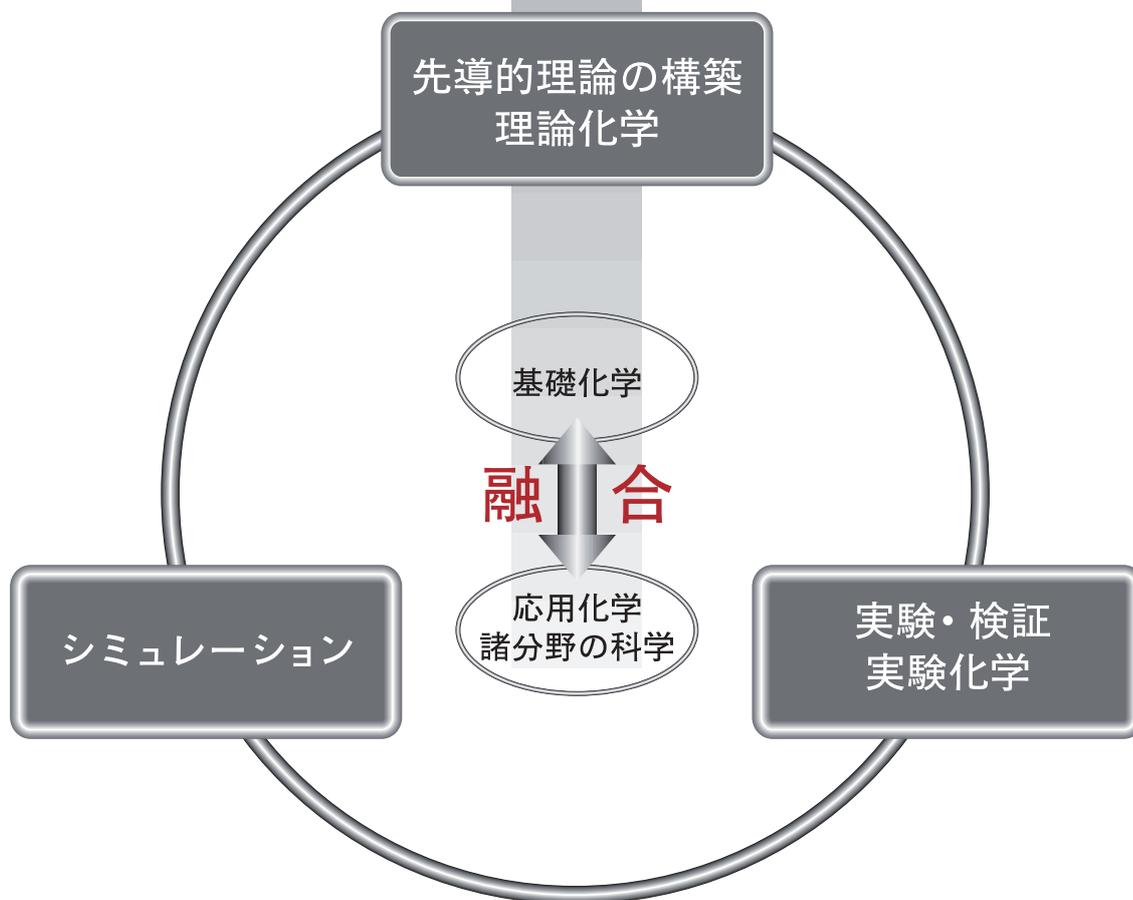
物質的理論的世界観の創造

## 理念

福井謙一博士の研究理念を継承・発展させ、世界の学術の進歩に寄与することを目的として、世界を先導する新たな物質的理論的世界観の創造を目指す。

## 目的

最先端の基礎化学と応用化学や関連する諸分野の科学を融合し、次世代の化学理論の構築を行い、独創的な研究を展開する。また若い研究者による発展的な研究を支援、助成する。



# 現 組 織

運営体制

平成29年6月1日現在

職 名		氏 名	専 門 分 野	所 属 元 部 局	
センター長		田 中 勝 久	無機固体化学	工学研究科	材料化学専攻
副センター長		谷 村 吉 隆	理論化学物理	理学研究科	化学専攻
		佐 藤 啓 文 (欠員中)	理論化学	工学研究科	分子工学専攻
総合研究部門 理論研究部門	准 教 授	(欠員中) (欠員中)			
協 議 員	工学研究科長	北 村 隆 行	機械材料・材料力学	工学研究科	機械理工学専攻
	理学研究科長	平 野 丈 夫	神経生物学	理学研究科	生物科学専攻
	化学研究所長	時 任 博	有機元素化学	化学研究所	物質創製化学研究系
総合研究部門 スーパー バイザー	教 授	古 賀 毅	高分子物理化学、統計力学	工学研究科	高分子化学専攻
		跡 見 晴 幸	生物化学	工学研究科	合成・生物化学専攻
		佐 々 真 一	統計物理	理学研究科	物理学・宇宙物理学専攻
		山 本 潤	ソフトマター物理	理学研究科	物理学・宇宙物理学専攻
		渡 辺 宏	分子レオロジー	化学研究所	分子レオロジー
理論研究部門 スーパー バイザー	教 授	田 中 功	計算材料科学	工学研究科	材料工学専攻
		田 中 庸 裕	触媒化学	工学研究科	分子工学専攻
		山 本 量 一	ソフトマター、複雑流体	工学研究科	化学工学専攻
		高 田 彰 二	理論生物物理	理学研究科	生物科学専攻
		林 重 彦	理論化学・理論生物物理	理学研究科	化学専攻

## 研究体制

職 名		氏 名	専 門 分 野
総合研究部門 理論研究部門	准 教 授	(欠員中) (欠員中)	
国際連携インター ディシプリナリー 研究推進室	特定助教	西 本 佳 央	大規模量子化学計算
福井センターフェロー		多羅間 充輔	非線形ダイナミクス、 アクティブマター、ソフトマター
		伊 丹 將 人	統計物理
		敷 中 俊 介	ソフトマター物理
		Schnyder, Simon Kaspar	ソフトマター物理
永瀬グループ	FIFGリサーチフェロー	永瀬 茂	高周期典型元素と遷移金属 元素化学種の理論化学
諸熊グループ	FIFGリサーチフェロー	諸熊 奎 治	複雑分子系の理論化学・計算化学
	福井センターフェロー	伊勢川 美穂 鈴木 聡	
	研究フェロー	Akhilesh Kumar Sharma Puripat, Maneeporn	
榊グループ	シニアリサーチフェロー	榊 茂 好	d 電子複合系の理論化学
	研究員	北 浦 和 夫	
	福井センターフェロー	青 野 信 治	
	研究フェロー	中 垣 雅 之	
		Hong, Zheng	
		Lu, Jing Zhong, Ronglin	
高塚グループ	リサーチリーダー	高塚 和 夫	非断熱電子動力学理論 による化学反応
	研究フェロー	松岡 貴 英	
		山本 憲太郎	
		新崎 康 樹	
福井センターシニアリサーチフェロー		田 中 一 義	元素ブロックを有する分子・ 高分子の理論化学